

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

第40回 熊本県人権教育研究大会

主な内容

【全体会】

日時 10月15日(土) 午後1時～午後4時45分
内容 開会行事・地元特別報告・記念講演
会場 益城町総合体育館

【分科会】

日時 10月16日(日) 午前9時～午後4時
内容 ①就学前からの学びと育ち
②人権が生きる学校・授業づくり
③共に生きる文化をつくる
④進路・学力を保障する教育と態勢
⑤自主活動と子どもの自立
⑥地域からの学びと啓発
⑦人権が根づくまちづくり
⑧特別部会

会場 郡内の小中学校体育館など18会場
※益城町では、益城中央小学校、飯野小学校、木山中学校、津森小学校、ミナテラスが分科会の会場となっています。
※どなたでも参加できますが、参加券が必要となります。10月12日(水)までに教育委員会までお申し込みください(数に限りがあります。お早めにお申し込みください)。

問い合わせ先 町教育委員会 生涯学習課
☎ 286-3111 内線 321・322

大会テーマ 部落差別の現実から深く学び
人間を尊重し、人と結び、
豊かな関係に高めうる教育の営みへ

地元テーマ 「心をむすぼう 思いをつなごう
笑顔が 命が かがやく未来を 上益城から」
(益城町 橋村りか さん作)

だれもが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利、
これが『人権』です

40回目を迎える熊本県人権教育研究大会が、11年ぶりに上益城郡で開催されます。人権・同和教育が広く根づいてきている今、人権尊重の意識は高まりを見せています。しかし、県内でもさまざまな差別発言等の問題が起きているように、大会テーマである「部落差別の現実から深く学び、人間を尊重し、人と結び、豊かな関係に高めうる教育の営み」があらためて求められています。また、潜在的な差別意識が引き起こすさまざまな人権問題は、私たち一人ひとりの課題と

して考えていかなければ、同じことが繰り返されてしまうこととなります。本大会では、「子どもや親のくらしに深くかかわりながら教育内容を創り出し、差別に立ち向かう子どもを育てる」「住民相互の主体的学習の展開を保障し、部落差別をはじめあらゆる差別を許さない思想を全県民のものにする」といった目的のもと、数多くの事実や実践の報告も行われます。あらゆる差別をなくす主体的な立場として、町民の皆さまも積極的にご参加ください。

あまのこの地名漫歩

歴史の変遷と地名

338

矢嶋姉妹周辺②

公園化が話題になつている潮井宮境内に「蘇峰先生誕生碑」があります。

「蘇峰先生学問淵博識見高邁常一室室ヲ念ヒ、議論正大文章暢達シテ天下ヲ風靡シ、政治歴史文学ヲ包括シテ一代ノ木鐸タリ。其ノ著述甚ダ多ク營ニ等身ノミナラズ齡古稀ヲ過ギ、精力益々壯シテ老ノ將ニ至ラントスルヲ知ラズ。実ニ倅ナリト謂フ可シ。先生文久三年一月二十五日先妣矢嶋氏ノ家ニ生ル、家八熊本県上益城郡津森村杉堂ニ在リ。頃者峰蘇会熊本支部津森村上益城郡教育支会等ノ諸人胥謀リ、石ヲ先生ノ誕生地ニ立テテラ標頭シ、更ニ碑ヲ潮井神祠域内ニ建テ敬慕ノ意ヲ表シ、永年後昆ニ伝フ。予因リテ其ノ由ヲ記ス。(句読点、筆者)

昭和八年三月

東郭 落合為誠 撰
鶴庭 坂井正典 書

この碑について、扁額仕立ての次の漢詩が記念館にあります。

「蘇山南麓小溪村

曾産文豪疏尚存
碑畔清流西注海
烟波浩蕩蘇泉坤」
杉堂觀蘇峯翁誕生地碑
船山 繁

筆者の読み下しは次の通りです。皆さんも適宜読んでください。
「蘇山ノ南麓、小溪ノ村。曾ッテ文豪ヲ産セシ疏ハ尚存ス。碑畔ノ清流、西ノ海ニ注グバ。烟波ハ浩蕩トシテ蘇泉ハ坤ナリ。
杉堂ニ蘇峯翁誕生地碑ヲ觀ル」。

碑文撰者 落合東郭は東大卒業後、五高、七高教授。後大正天皇の侍従。書家の坂井鶴庭は玉名郡の人。船山、姓は東で三賢人を詠み「三賢堂吟詠集」に名を連ねた漢詩人です。蘇峯生誕跡には石の標柱が立ちます。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策



潮井宮境内の蘇峰記念碑